

■前回の議論をふまえて新たに作成した対策案（修正案）のポイント

- 施設配置（施設の集約化）
- 学校跡地（南小・西小・東小）

～議論の内容～

- ・ 1か所に機能集約するのではなく特色を付けた拠点を分散して配置する方が、地域の活性化につながるのでは
- ・ 機能を1か所だけに集中させると地域による偏りができてしまうので、バランスを考えて施設配置を
- ・ 学校が担ってきた避難所としての機能を存続できるようにしてほしい



- ・ 施設の集約化は理想だが、地域間のバランスに欠ける
- ・ 避難所機能の存続は地域の重要課題



- 校区ごとにテーマを仮に設定し、民間活用による地域活性化を図る
- 跡地を売却や貸付するにあたり、災害時に住民が一時避難できることを条件とする

- 文化3施設（樋口記念美術館・歴史民俗資料館・物産館）

～議論の内容～

- ・ 歴史的背景や地域資産としての価値、住民の思い出等のデータでは測れないものも汲み取って検討を
- ・ 文化も地域の重要な核の1つ
- ・ 文化施設が学校に併設されると、教育的な効果が期待できる



- ・ 文化3施設は庭園などを含め一帯となっており、移転が難しい
- ・ これまでと同様の運営では将来世代に負担が残る



- 当面の間、現在地で存続させる
- 運営の見直しを行い、経費削減を図る

- 老人デイサービスセンター・健康センター

～市からの提案～

- ・ 現在、施設を市が所有し、デイサービスの運営を民間事業者が実施
- ・ 今後、運営だけでなく、施設所有も民間とすることで、効率的な管理・運営が可能となるようにしたい
- ・ 運営形態はこれまでの変わらず、提供するサービスは変わらない



- ・ 超高齢化社会に備え、併設する健康センターも含め有効活用し、サービスを維持（向上）したい



- 健康センター部分もデイサービスセンターとして活用する
- 健康センターは、出張所やゆう学館など既存施設を利用することで機能を確保する

- F'案の作成にあたって

～議論の内容～

- ・ 旧小学校を中心として、各学区に特色を持った機能を集約し、「福祉・健康」「スポーツ・観光」「スポーツ・公園」の3つのエリアを形成
- ・ 今ある施設をまとめるだけでなく、区役所を移転したり、中央省庁の分署を誘致するなど、行政機能を拡大・集積させ、人が流入するようにしたい



- ・ 区役所の移転などは、政策判断や、多額の投資が必要
- ・ すべての施設を市が所有していくことは困難



- 旧西小学校はスポーツ、旧南小学校は福祉、旧東小学校は公園として、提案の内容を市で修正したF'案を作成

■前回の議論をふまえて新たに作成した課題解決のためのコンセプトと対策案（修正案）

A' 【コンセプト】
 新設小学校に機能を集約・複合化し、新たな子育て・多世代交流・地域活性化の拠点をつくる案
 （WS議論をふまえた修正案）

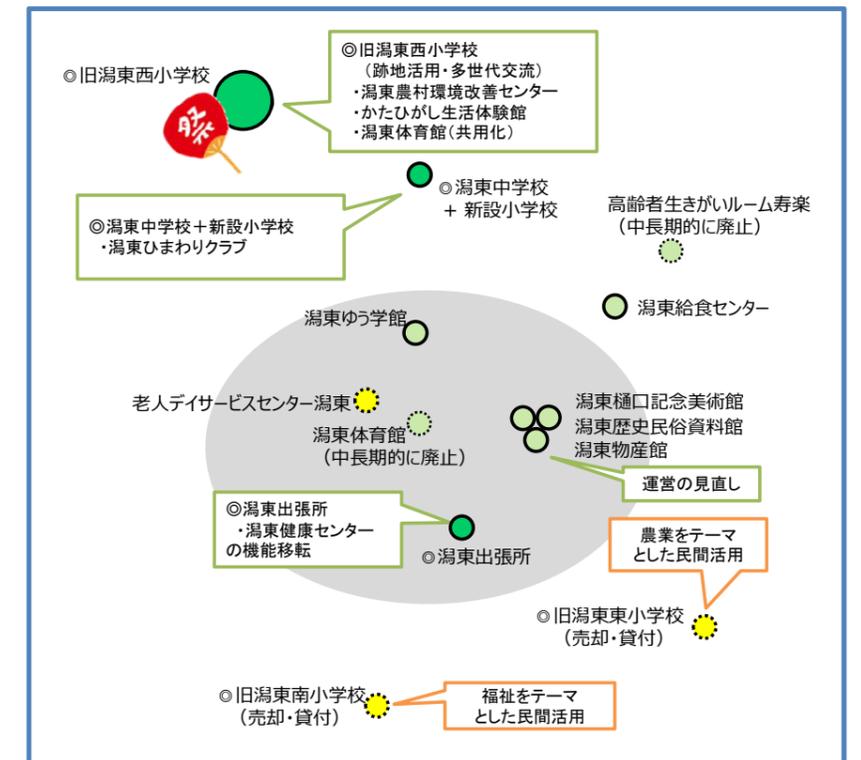
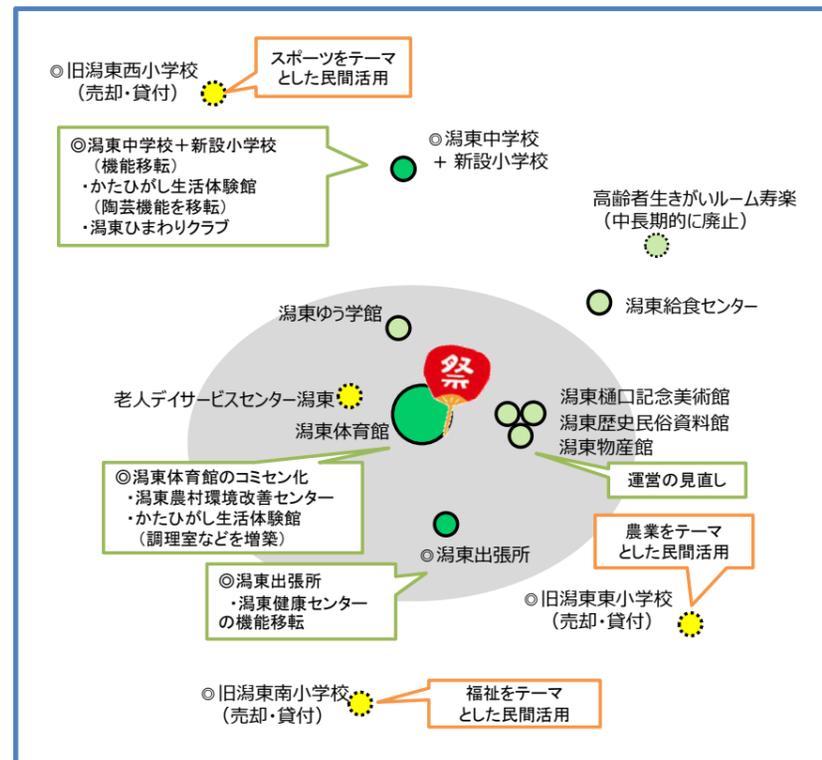
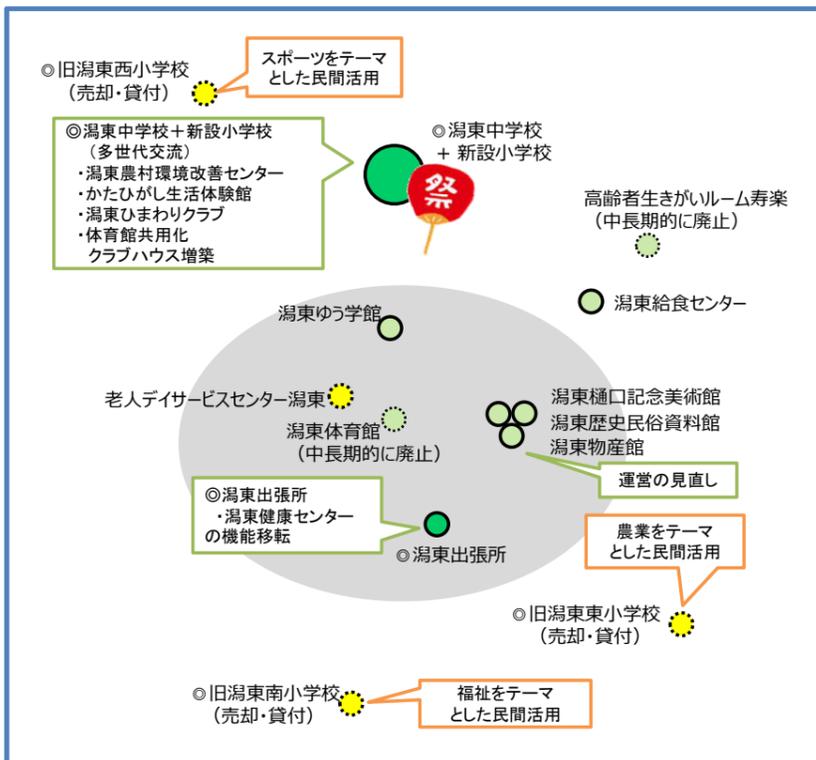
- 地域の機能を学校に集約し連携
- 地域活動交流と多世代交流を促進
- 地域と連携した教育環境を向上
- 既存施設を集約することでコスト削減

B' 【コンセプト】
 湯東体育館をコミセンに転用し、中心部をコンパクトにまとめつつ地域活性化・多世代交流を図る案
 （WS議論をふまえた修正案）

- 地域の機能を湯東体育館に集約し有効活用
- 湯東体育館に調理室などを増築しコミセン化
- 十分な駐車スペースの確保により、地域活動交流と多世代交流を促進
- イベント時の使い勝手の向上
- 既存施設を集約することでコスト削減

C' 【コンセプト】
 西小学校への機能集約とサルビアパークを拠点として、スポーツを軸とした地域振興を図る案
 （WS議論をふまえた修正案）

- 西小学校跡地の校舎の一部や体育館を活用し、スポーツを軸とした集客や地域活性化を促進
- 西小学校跡地は地域が管理運営（行政コスト削減）



案の概要

【特長】

- 新たな地域の中心となる小学校・中学校に、地域コミュニティにとって重要な機能（カモねぎまつり・どろんこカップの場としての活用、多世代交流）を担わせる。
- 学校と地域活動の連携により、地域内交流、多世代交流の促進が期待できる。
- 地域と連携した教育プログラムがしやすくなることで、教育環境の向上が期待できる。

【課題】

- 現在の中心部とはやや離れており、既存施設との連携が図りにくい。
- 新設小学校に様々な役割を持たせるため、さらに建設費がかかる。

案の概要

【特長】

- 地域の中心に、地域コミュニティにとって重要な機能（カモねぎまつり・どろんこカップの場としての活用、多世代交流）を集中させる。
- 既存の施設を活用し、現在の中心部を活性化させることにつながる。
- 廃止施設跡地を活用し、十分な駐車場などのスペース確保が可能に
- 体育館がスポーツ施設の位置付けでなくなることから、利用料の設定に地域の意向を反映することができる。

【課題】

- 体育館に関しては、比較的大きな規模のリニューアル工事が必要となる。

案の概要

【特長】

- 西小学校を行政が維持することにより、A',B'案と比べて公共施設が分散化する。
- 配置が分散化され、より身近に公共施設が配置される。
- 隣接するサルビアパークとの連携により、地域の活性化が期待できる。
- カモねぎ祭りの開催場所が旧西小学校に移転する。

【課題】

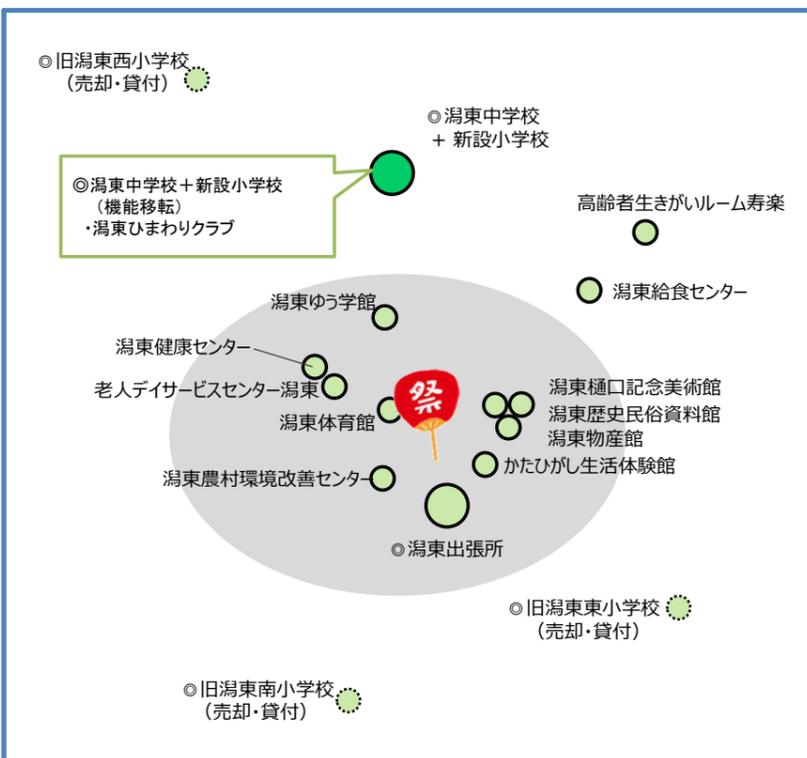
- 中心性を担保する機能、にぎわいの分散化が懸念される。
- 西小学校に関しては、空調の整備などの工事が必要となる。

※これらの案は、比較検討のためのものであり、実現を担保するものではありません。

※これらの案は、比較検討のためのものであり、実現を担保するものではありません。

D 【コンセプト】
特に今は対策をせず、現状のままとする案

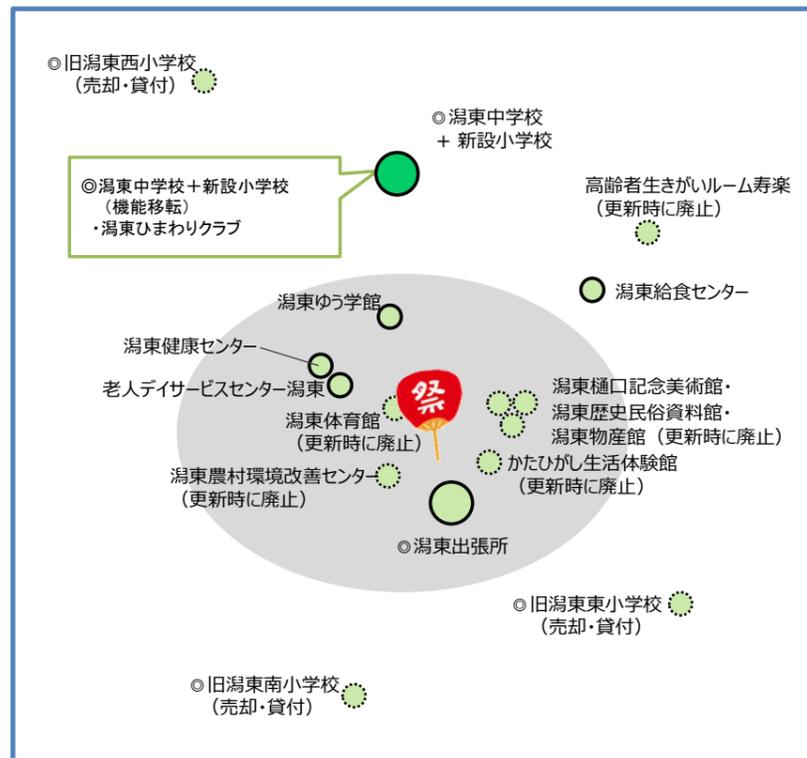
- 統合が決まっている小学校以外の現施設は存続させ、その後更新時期まで使用を続け、更新時期時点での状況にあわせ整備のあり方を検討
- 新小学校以外は新たな施設整備は行わない



案の概要	
【特長】	・現状の配置・機能が当面の間は継続される。
【課題】	・課題解決の狙いの達成に寄与できない。 ・コストを削減できない。

E 【コンセプト】
行政コストの縮減と効率化を重視した案

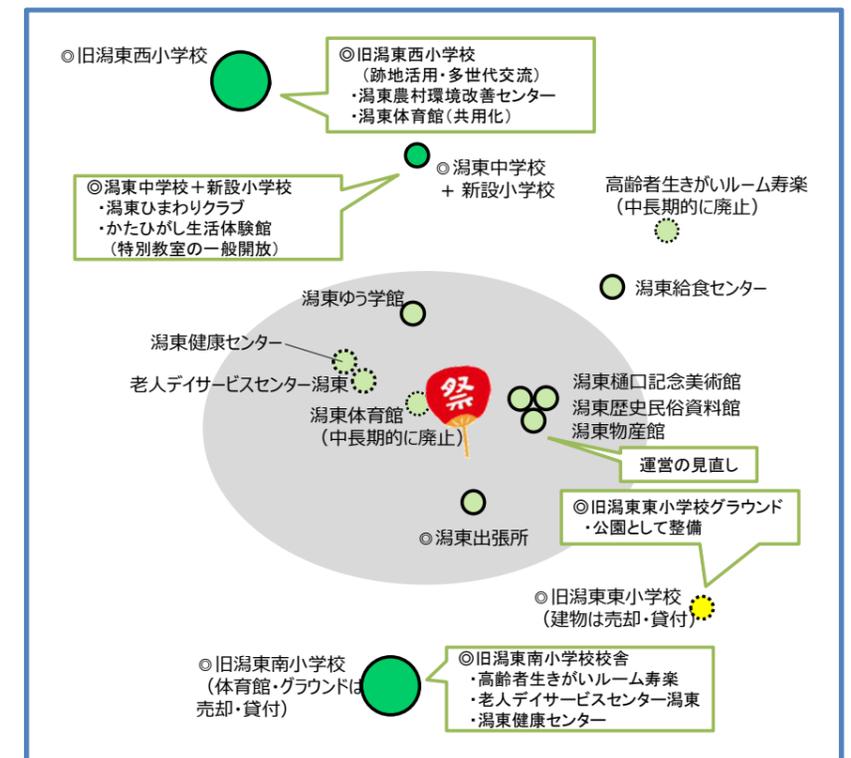
- 更新時期が到来した施設は、その時点で順次廃止する
- 新設小・現中学校、ゆう学館、出張所、健康センターを存続し、教育や行政サービスを提供



案の概要	
【特長】	・大幅なコスト削減を実現でき、市民の負担が軽減される。
【課題】	・地域コミュニティ活動や余暇活動のあり方に影響が大きい

F' 【コンセプト】
旧小学校跡地それぞれに機能の特色を持たせ、分散配置とする案
(WS議論をふまえた新規案)

- 中心部にあった機能を再編し、施設の分散配置
- 旧西小学校はスポーツ拠点、旧南小学校は福祉の拠点、旧東小学校は公園として整備（東公園は売却）



案の概要	
【特長】	・機能が分散化され、各地域により身近な施設が整備される。
【課題】	・中心性を担保する機能、にぎわいの分散化が懸念される。 ・西小学校に関しては、空調の整備などの工事が必要となる。 ・東小学校グラウンドに関しては、公園整備のための大規模な工事が必要となる。 ・南小学校校舎に関しては、福祉施設に転用するための大規模な工事が必要となる。 ・中心部が空洞化するため、カモねぎ祭り、どろんこカップを中心部で開催する場合、不便が生じる。